

# 令和元年度 自己評価・学校関係者評価報告書

令和2年2月19日

幼稚園型認定こども園宇宿幼稚園

## 1. 本園の教育目標

心豊かでしなやかに、生かされて生きることに気づき、感謝する園児を育成する

## 2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

幼稚園教育要領及び本園のまことの保育を踏まえ、一人一人を大切にした質の高い教育の実践を行う。

## 3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	園内研修を充実させ、教育内容の質を向上させる。	B	全職員が研究保育に取り組み、10の姿や個人の研究課題の解決に取り組み、質の深まりが見られる。
2	日々の保育活動を充実させ、一人一人を大切にした教育を行う。	A	多様な保育活動を取り入れたことにより、子どもの成長が見られた。家庭からの評価も良好である。
3	研究公開を実施し、保護者・地域住民の意見を取り入れる。	A	保護者・地域住民からの意見は、好評であり、今後の本園教育の推進力になった。

評価 (A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

## 4. 総合的な評価結果

評価	理由
A	3つの項目に重点的に取り組んだ結果、一人一人を大切にした質の高い教育に近づきつつある。課題も見えてきたので、次年度に取り組みたい。

評価 (A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

## 5. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	研究・研修	令和2年度は鹿児島県私立幼稚園教職員研究会で発表予定である。「子どもと共に育つ保育者」のテーマに向けて研究を深めたい。
2	家庭との連携	ポートフォリオ（写真やエピソード）の内容を充実させるとともに、保護者へのアピール等更に工夫していきたい。
3	幼小の接続	自己評価で低い結果が出ている。今後様々な面で、連携を強化していきたい。

## 6. 学校関係者評価委員会の評価

4段階評価（4とても良い 3良い 2良くない 1とても良くない）で実施。

- （1）本園のランドデザインについては、とても良いに100%の評価をいただいた。  
特に、お寺の幼稚園という特色を出しており、わかりやすくまとめられている。
- （2）本年度の重点については、とても適切であるに100%の評価をいただいた。  
重点に対しての具体策が適切に設定されている。研究公開は呼びかけを広げるとよい。
- （3）学校評価はとても適切であるが80%、適切であるが20%の評価をいただいた。  
全体的に高い評価であるが、評価項目の設定の工夫が必要である。
- （4）全体的に宇宿幼稚園の教育内容はとても適切であるに100%の評価をいただいた。  
ポートフォリオの取組は素晴らしい。地域行事等へ積極的に参加している。新しい入園基準は保護者からの理解も得られる。心の教育を中核に据えている。